

岡山県出身旧軍人・軍属等の概数及び戦役別戦没者数

1 概数

(単位：人)

区 分	戦没者	復員者	在郷者	計
陸 軍	43,421	129,070	80,000	252,491
海 軍	10,990	19,037	17,690	47,717
計	54,411	148,107	97,690	300,208

※ 在郷者とは、平時は民間で生業につき、戦時は軍隊に加わる予備役、退役などの軍人をいう。

2 戦役別戦没者数

(単位：人)

区 分	満州事変まで	日中戦争	太平洋戦争	計
陸 軍	2,600	4,379	36,442	43,421
海 軍	701	22	10,267	10,990
計	3,301	4,401	46,709	54,411

<満州事変から終戦まで>

昭和6年(1931)9月18日、満州(現・中国東北地区)奉天(現・瀋陽)における柳条湖事件に端を発し満州事変が勃発した。この事変は、1年8ヶ月後の昭和8年(1933)5月31日、日中軍事停戦協定により一応終結したが、犠牲者も多かった。この事変に動員された岡山県関係者は、約3,000人余りであったが、このうち戦死者は190人余りとなっている。

そして、昭和12年(1937)年7月7日には、北京南西郊外の廬溝橋付近で、日中両軍に軍事衝突が起こり、これが端緒となり日中戦争へと発展していった。その後の日中戦争は泥沼化した長期戦の様相となり、膠着状態に陥っていった。

太平洋戦争は、昭和16年(1941)12月8日に始まった。そして、3年9ヶ月に及ぶ戦争は、我が国に310万人余りの戦争・戦災死没者を出し、昭和20年(1945)8月15日、ポツダム宣言の受諾によって終戦を迎えたのである。

(「戦後50周年記念 援護の歩み」(岡山県)から抜粋)